

一 般 質 問

Q 小平幼稚園幼保一元化の方向性は

西 埜 克 明

一、教育委員会事務事業点検評価の中で、幼保一元化事業に関する報告は鬼鹿幼稚園の町立こども園にかかる報告のみであり、小平幼稚園の今後の方向性について伺う。

二、事務事業点検評価の中で、健康安全対策について報告がなされているが、事故発生時のマニュアルは作成されているのか、また、事故発生時の対応等を町が進めているハザードマップに組み込み、町内に配布することができないか伺う。

三、新学習指導要領について小学校は平成23年度、中学校は平成24年度からの実施となっているが改善のポイントを伺う。

また、中学1・2年生は新たに武道（柔道又は剣道）が必修科目とされているが、準備はどのように進んでいるか伺う。

A 今後の国の動向を踏まえ検討したい

教育長 横 田 達 男

一、国は平成25年度までに新たな子育て支援制度体系の創設を盛り込むものとして先送りとなっているのが現状。今後の幼保一元化審議の動向を踏まえ、検討したい。

二、事故発生時については、学校管理規則及び道教育委員会が定めるマニュアルが整備されており、幼稚園についても火災、自然災害、不審者などのマニュアルに基づき迅速な対応を行っている。ハザードマップへの対応については、町が作成する内容を加味した対策を行いたい。

三、新学習指導要領について、小学校は外国語活動が追加され、国語・算数など各教科時数の増加と総合的な学習時間の減少を差引き、6学年合わせて20時数の増加。中学校は、各教科の増加と総合的な学習時間及び選択教科時数の減少を差引き、10時数の増加となっている。

武道必修化については、両中学校とも剣道を選択し、武道具などについても順次準備を進め、鬼鹿は移行期間である21年度から、小平は23年度から保健体育の科目として行っており、24年度の本格実施に向けて進めている。

Q 防災訓練の実施について今後どう考えているか

工 藤 雄 壽

一、東日本大震災を受け、各地で津波に対する避難訓練が実施されており、本町においても小平地域で9月に予定されていたが、台風の接近により中止となったところである。今後の実施についてどう考えているか伺う。

また、臼谷・鬼鹿地区では自主的に避難訓練を実施しているが、避難路が狭隘で急勾配であったり、避難所の面積が不足しているなど解決しなければならぬ問題が見受けられる。ハザードマップの作成はもろろであるが、取り組めるものは早期にスピード感を持って行うべきと考えるが町長の考えを伺う。

二、小平消防支署は相当の年数が経過しながらも、町民の生命・安全安心に対してその機能を遺憾なく発揮してきた。しかし、このたびの大震災の教訓から、現在の立地では津波の浸水により、消防機能が麻痺することも想定される。庁舎の老朽化も著しく、新たに災害に対応できる庁舎や設備等の整備を検討する考えはあるか伺う。

A 各町内会が主体となった訓練を実施したい

町 長 関 次 雄

一、本年度は小平地区連合町内会の要請により、500人規模で津波を想定した訓練を企画したが、悪天候のため中止となった。

訓練は机上では掌握できない問題点を洗い出すもので、防災対策上、最も重要であり、来年度は小平地区で同規模の訓練を実施したい。また、各町内会において自主防災組織を結成いただき、災害時要支援者の対応も含め、各町内会主体の訓練になればと考えている。今後の訓練については各町内会が自主的に検討し、行政が支援を行う方法が意識高揚の定着にもつながり、官民一体となった訓練になるものと思っている。

避難路等の整備については、各町内会の意向に沿うよう「一手すり」や「階段」等の資料提供を行い、地域配置職員と連携をとった中で避難路網の整備を図りたい。

二、小平支署庁舎は、築後31年が経過し、様々な面で老朽化が目立つ状況にあり、標高5メートル弱の現在地で良いのかどうか懸念される。今後、道から示される津波堆積物調査に基づく浸水予想図にもよるが、財政的な事情も含め、今後の検討課題と捉えている。